



米国の臨界前核実験について

中澤 邦雄 議員《日本共産党》

市長の政治姿勢として、米国の臨界前核実験について伺います。米国はプルトニウムを用い、核爆発を伴わない臨界前核実験を2月13日にネバダ州の施設で実施したと発表しました。臨界前核実験は、核分裂の連鎖反応の続く臨界にならないよう、少量のプルトニウムに衝撃を与えてデータを得るものですが、トランプ政権では2回目、米国としては29回目となります。今回の臨界前核実験は、核兵器不拡散条約（NPT）第6条の核軍縮義務に違反するとともに、核兵器禁止条約の早期発効を求める国際社会の大きな流れに対する挑戦であるばかりか

りでなく、北朝鮮に核兵器と核開発の放棄を求める立場と矛盾するものであり、許されません。神奈川県や県内の自治体は抗議文をトランプ大統領に送っています。今回の米国の臨界前核実験に対する市長の見解と対応を伺います。

市長 我が国は唯一の被爆国として、核兵器の恐ろしさ、残忍さ、非人道性を身近に感じています。当然、核兵器は不要、そして廃絶するべきものと思っており、被爆国として我が国の考え方や置かれている立場を丁寧に説明しながら、核兵器廃絶に向けて世界各国に理解を促すことが必要だと思えます。



入札契約制度の優遇措置導入について

高波 貴志 議員《自民党・いさま》

防災・減災の観点から見ても災害発生時における地元建設業者の果たす役割は重要であり、必要性は高まっています。本市でも災害発生時には地元建設業者の力が必要であり、業者に体力を維持してもらうことは担い手の育成、確保と同様に必要不可欠です。

度と認識しています。本市においても、災害時の復旧作業や社会貢献をしている地元業者がいることで市民の安全・安心が成り立っていることは承知しており、その事実を入札における優先的な参加条件とすることが、市内事業者の育成につながるものと考えます。社会貢献などの実績や工事成績等を入札参加条件にするのもインセンティブ発注に当たりませんが、一般競争入札をする上でも有効と考えますので、今後、社会貢献などを考慮した制度の見直しを検討していきます。優遇制度の導入についても、他自治体を参考に検討していきます。

本市の公共事業における入札制度のさらなる改善が必要と考えますが、神奈川県内の入札制度指名競争入札やさまざまな自治体で行われているインセンティブ発注、消防団協力事業所の入札での優遇措置について、見解を伺います。

総務部長 いのち貢献度指名競争入札は大変有意義な制度



本市の特長を生かした家庭教育支援策の実現・実行について

内藤 幸男 議員《自民党・いさま》

本市は、100年以上前から地域で家庭を支える文化が残っています。それが座間幼稚園の活動であり、明治33年ごろに座間村河原宿に住んでいた鈴木利貞さんが近所の子供たちを集め、読み聞かせを行ったことが始まりとされています。幼稚園は、柿の木の下で誓いという規則を設け、この誓いは学校教育指導計画豊かな心を育むひまわりプランのさまざまな分野の講師を迎え、この誓いを受けており、その文化が今日の学校や家庭、地域の教育に継承されることは、強く望まれることです。本市の特徴を生かした家庭教育支援策の実現、実行については、生涯学習として親やこれからの親となる方等を対象に、毎年さまざまな分野の講師を迎え、親のあり方や地域とのかかわり方を考える家庭教育研究会等を開催しています。今後、子育て中の親の現状に合った講座等を提供し、さらなる家庭教育に対する意識の向上を図っていきたく考えます。

本市は、100年以上前から地域で家庭を支える文化が残っています。それが座間幼稚園の活動であり、明治33年ごろに座間村河原宿に住んでいた鈴木利貞さんが近所の子供たちを集め、読み聞かせを行ったことが始まりとされています。幼稚園は、柿の木の下で誓いという規則を設け、この誓いは学校教育指導計画豊かな心を育むひまわりプランのさまざまな分野の講師を迎え、この誓いを受けており、その文化が今日の学校や家庭、地域の教育に継承されることは、強く望まれることです。本市の特徴を生かした家庭教育支援策の実現、実行については、生涯学習として親やこれからの親となる方等を対象に、毎年さまざまな分野の講師を迎え、親のあり方や地域とのかかわり方を考える家庭教育研究会等を開催しています。今後、子育て中の親の現状に合った講座等を提供し、さらなる家庭教育に対する意識の向上を図っていきたく考えます。

一般財団法人自治総合センターが行っているコミュニティ助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行い、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業です。本市で実施する多くの事業に活用できる助成金ですが、広く活用されています。今後の活用についての見解を伺います。

市民部長 今回の第2回定例会の一般会計補正予算にお



地域の危険交差点の安全対策を問う

加藤 学 議員《公明党》

市道5号線と市道9号線が合流する交差点は交通量が多く、交差点の幅が広いため歩行者の横断に時間がかかるばかりか、市道9号線から市道5号線へ向かう車両からは緩やかなカーブのため、車両と歩行者の双方から相手の発見が困難な可能性があるなど危険な交差点になっています。歩行者の安全確保と交差点での事故防止のため、交差点のカラー舗装化と発光式の交差点びょうの設置、そして、市道9号線は横断に迂回が必要

市道5号線と市道9号線と市道9号線の丁字路は、交通事故多発区間（地点）対策箇所として、机上診断と現地診断を行い、診断結果をもとに安全対策を講じた箇所です。今後は、さらなる歩行者への交通安全対策として、交通管理者である座間警察署に信号機や横断歩道の設置についての相談を行うとともに、道路管理者である本市としても、ドライバーに丁字路の存在を視覚的に認識してもらうため、市道5号線の斜線着色や発光式の交差点びょう設置等の安全対策を進め、歩行者や車両に対して安心・安全な道路づくりに努めていきます。

市道5号線と市道9号線が合流する交差点は交通量が多く、交差点の幅が広いため歩行者の横断に時間がかかるばかりか、市道9号線から市道5号線へ向かう車両からは緩やかなカーブのため、車両と歩行者の双方から相手の発見が困難な可能性があるなど危険な交差点になっています。歩行者の安全確保と交差点での事故防止のため、交差点のカラー舗装化と発光式の交差点びょうの設置、そして、市道9号線は横断に迂回が必要

市道5号線と市道9号線と市道9号線の丁字路は、交通事故多発区間（地点）対策箇所として、机上診断と現地診断を行い、診断結果をもとに安全対策を講じた箇所です。今後は、さらなる歩行者への交通安全対策として、交通管理者である座間警察署に信号機や横断歩道の設置についての相談を行うとともに、道路管理者である本市としても、ドライバーに丁字路の存在を視覚的に認識してもらうため、市道5号線の斜線着色や発光式の交差点びょう設置等の安全対策を進め、歩行者や車両に対して安心・安全な道路づくりに努めていきます。



コミュニティ助成事業助成金の活用について

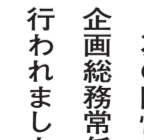
京免 康彦 議員《自民党・いさま》

一般財団法人自治総合センターが行っているコミュニティ助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行い、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業です。本市で実施する多くの事業に活用できる助成金ですが、広く活用されています。今後の活用についての見解を伺います。

一般財団法人自治総合センターが行っているコミュニティ助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行い、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業です。本市で実施する多くの事業に活用できる助成金ですが、広く活用されています。今後の活用についての見解を伺います。

一般財団法人自治総合センターが行っているコミュニティ助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行い、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業です。本市で実施する多くの事業に活用できる助成金ですが、広く活用されています。今後の活用についての見解を伺います。

一般財団法人自治総合センターが行っているコミュニティ助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行い、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業です。本市で実施する多くの事業に活用できる助成金ですが、広く活用されています。今後の活用についての見解を伺います。



「特別の教科 道徳」への移行に伴う道徳授業と評価方法について

池田 徳晴 議員《さま大志会》

道徳は「特別の教科 道徳」として教科化されました。道徳が特別の教科となることで、どのように変わるのかお示しください。

また、道徳の教科化に伴い道徳授業の充実に向けた考えと、児童・生徒の評価方法についての所見を伺います。

道徳は「特別の教科 道徳」として教科化されました。道徳が特別の教科となることで、どのように変わるのかお示しください。

また、道徳の教科化に伴い道徳授業の充実に向けた考えと、児童・生徒の評価方法についての所見を伺います。

道徳は「特別の教科 道徳」として教科化されました。道徳が特別の教科となることで、どのように変わるのかお示しください。

また、道徳の教科化に伴い道徳授業の充実に向けた考えと、児童・生徒の評価方法についての所見を伺います。

道徳は「特別の教科 道徳」として教科化されました。道徳が特別の教科となることで、どのように変わるのかお示しください。

また、道徳の教科化に伴い道徳授業の充実に向けた考えと、児童・生徒の評価方法についての所見を伺います。



次回の陳情は、6月定例会の企画総務常任委員会で審査が行われましたが、閉会中の継続審査に決まりました。

陳情第44号 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

請願・陳情はいつでも受け付けています。提出された請願・陳情は3月、6月、9月、12月の年4回開催される定例会において審査されます。なお、定例会ごとの締め切り日は、議会事務局にお問い合わせください。046(252)8872